

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2008年6月

## 平成19年度電気材料安全・規格委員会報告

電気製品の安全性確保に果たすプラスチックの役割の重要性を認識し、関係団体と協力して電気製品の安全規格やそれに使用されるプラスチック関連試験規格の国際統合化の動きに対し、業界の意向反映に努めた。

1. UL94 5V 燃焼試験について、昨年に引き続き当委員会を窓口としてULと交渉を行なった。ULより、5V試験方法についてのタスクグループに日本から2名の参加を要請され、9月から特別委員2名が参加した。
2. 電気用品部品・材料認証協議会(CMJ)の材料登録促進のため、JEITAの協力の下、材料部会より0.1mmピカット軟化温度の登録が必要な材料リストが出され、当委員会関係団体にPRし、登録を促した。
3. (社)電子情報技術産業協会(JEITA)との連携では電気材料安全連絡会を3回開催するとともに、JEITAのAV安全技術専門委員会総会にも特別参加し、電気製品の安全や電気材料に関する規格等の案件を幅広く取り上げて情報交換を行った。
4. 電気安全に係る規格関連
  - (1)IEC/TC89(耐火性試験)／(財)日本電子部品信頼性センター(RCJ)  
5月ロンドン、10月ルマンの国際会議に委員を派遣し、関連規格の見直し、統廃合の審議に参画した。
  - (2)IEC/TC108(オーディオ・ビデオ、情報機器、通信技術分野における電子機器の安全性)／(社)ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)
    - HBSDT分科会:TC108の安全性規格をIEC 62368として開発中。10月のシカゴ会議を経て、2007年11月にCDVが発行された。
    - WG10分科会:IEC 62075(IT/AV機器の環境配慮設計)は12月にFDISが可決され1月にISが発行された。
  - (3)IEC/TC111(電気・電子機器、システムの環境規格)／(社)電子情報技術産業協会(JEITA)
    - WG1(含有化学物質開示手順):2008年3月現在ワーキングドラフトの合意形成中であり、4月のCD文書回付を目指す。
    - WG2(環境配慮設計):IEC 62430(環境配慮設計規格)のCDV準備中である。2009年5月のIS発行を目指す。
    - WG3(RoHS規制含有化学物質試験方法):IEC 62321は2007年12月に第2CDVが可決された。2008年10月のIS発行を目指す。
    - HWG3(規制化学物質試験のための試料ガイドライン):2008年7月PAS発行を目指す。
    - HWG4(Reuse, Recycle, Recovery):リサイクルに絞ったNPの作成を検討中である。
  - (4)IEC/TC112(電気絶縁材料及びシステムの評価と認定)／電気学会  
国内委員会が3回開催され、国際会議は2007年9月に名古屋で開催された。プラスチックに関係がある規格2件(IEC 60216-5、IEC 60085)のFDISが承認された。  
IEC 60167(絶縁抵抗の試験方法)、IEC 60212(状態調整)のJIS原案が作成された。
  - (5)UL関係
    - ULの安全規格(UL746A、746E、796)の改訂状況を報告した。
    - UL94 5V燃焼試験方法対応  
2007年4月にUL技術責任者が替わり、9月にUL94-5V Task Group会議が開かれ、日本から2

名の特別委員を派遣した。この会議で及び 2 回の電話会議で、パイロットラウンドロビンテスト (Pilot-RRT) の要領が決まり、会員各社の協力の下、6 種類の樹脂で接炎方法を変え、日本提案の方法も含めて実施している。

また、Task Group 会議で確認した 5V 試験方法が、昨年合意した方法と異なることが判明したため、UL に文書で抗議し、会員団体へフォローアップへの推奨対応案(第 2 報)を提供した。

以上

日本プラスチック工業連盟  
電気材料安全・規格委員会